

公開シンポジウム 2007. 2. 5 in 東京

アジア海域社会の復興と 地域環境資源の持続的・多元的利用戦略

ースマトラ島沖地震津波からの復興と資源管理ー

- 日 時: 2007年2月5日(月) 13:00 ~ 17:00
- 会 場: キャンパス・イノベーションセンター東京 2階 多目的室2
- 主 催: 広島大学大学院 生物圏科学研究科
生物資源科学専攻 食料資源経済学講座
山尾政博 研究室
- 後 援: 広島大学東京リエゾンオフィス

趣 旨

- スマトラ島沖地震津波で被災した大部分は、漁村である。被災漁村では、生計復興活動や漁業の回復に努める地域がある一方で、実態を反映しない支援により、漁村社会の地域格差も生まれている。被災から2年たった現在でも、漁村復興をめぐる問題は山積みである。
- 本シンポジウムでは、タイ、スリランカ、インドネシアでの実態調査に基づき、各地で漁民が津波被害をどのように克服しようとしているのかを紹介するとともに、被災後の持続的な資源利用・管理への努力を報告する。被災漁村が抱える問題をシンポジウム参加者と共有し、漁村が本来もつ多面的機能を発揮する総合的な復興過程をみすえた政策的措置などについて議論する。

【お問合せ先】 広島大学大学院生物圏科学研究科 食料資源経済学講座
担当: 久賀・山尾
Tel: 082-424-7962 E-mail: sympo25tsunami@yahoo.co.jp

プログラム

1) 開会 13:00～13:20

1	開会のことば	島 秀典（鹿児島大学・教授）	13:00～13:05
2	基調報告	山尾 政博（広島大学・教授）	13:05～13:20

2) パネル・ディスカッション

第1部 タイセッション 13:20～14:35

1	タイの沿岸漁村及び沿岸漁業に対する復興支援の特徴	パタリヤ・スワンラタナチャイ （SEAFDEC・研究員）	13:20～13:35
2	Local Management Practice to Deal with the Effects of Tsunami Disaster in Thai Fishing Communities	ワンタナ・チェンキットコソン （広島大学・博士課程）	13:35～13:55
3	Recovery of Livelihood through Microfinance and Income Generating Activity: A case of Fishing Community affected by Tsunami	ポンプラパ・サクンセン （広島大学・博士課程）	13:55～14:15
ディスカッション 座長：山下 東子（明海大学・教授）			14:15～14:35

<休憩 15分間>

第2部 スリランカセッション 14:50～15:45

1	漁村の再配置に向けて	久賀 みず保 （広島大学・特別研究員）	14:50～15:05
2	Consequences of the Tsunami on Fisheries and Coastal Livelihood: A Case Study of Tsunami Ravaged Southern Sri Lanka	アチニ・デ・シルバ （広島大学・博士課程）	15:05～15:25
ディスカッション 座長：赤嶺 淳（名古屋市立大学・助教授）			15:25～15:45

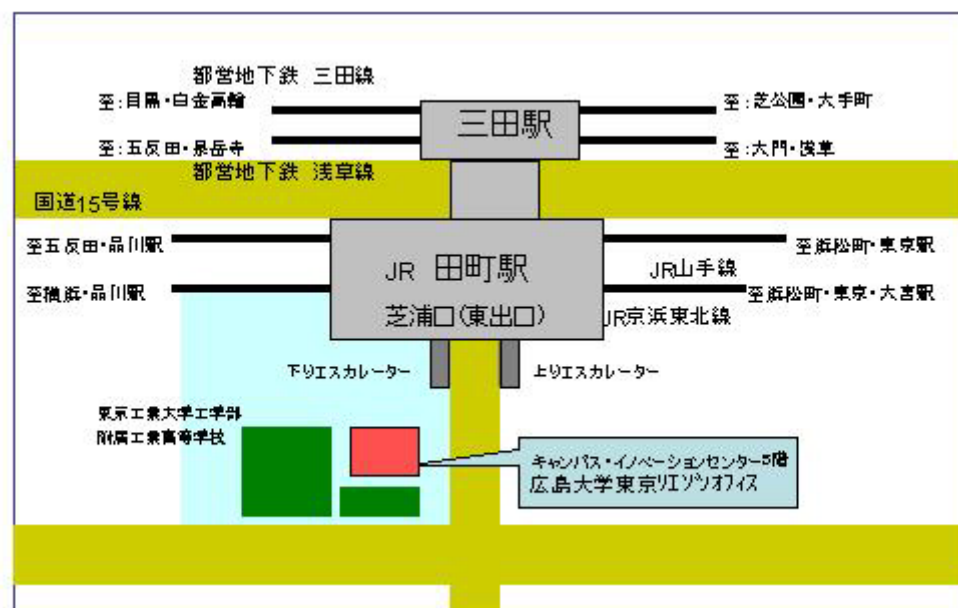
第3部 インドネシアセッション 15:45～16:20

1	Community-based型復興の意義と役割 - バンダ・アチェの経験 -	辰己 佳寿子 （山口大学・助教授）	15:45～16:05
ディスカッション 座長：鹿熊 信一郎（亜熱帯総合研究所）			16:05～16:20

3) フリーディスカッション・閉会 16:20～17:00

1	フリーディスカッション	座長：家中 茂 （鳥取大学・助教授）	16:20～16:55
2	閉会のことば	山尾 政博	16:55～17:00

キャンパス・イノベーションセンター東京



JR山手線・京浜東北線 田町駅徒歩 1 分
都営三田・浅草線 三田駅徒歩 5 分

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター 2 階 多目的室 2